

# 令和2年度決算

## 【概要】

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により非常に厳しいスタートとなりましたが、全教職員の懸命な対応により医療収入は6月以降徐々に回復し、前年度実績とほぼ同額の848億円となりました。また、教育面でも大きな影響を受けましたが、遠隔授業の実施などで教育進度を保つことができました。

当年度は、各種補助金・助成金が増加したこともありますが、アクションプラン21の第3期工事、新武蔵小杉病院の建設などのプロジェクトをこなしつつ、前年度に引続き大幅な収入の増加と経費の節減による収支構造の改善を目指した結果、事業活動収入合計1,069億円、事業活動支出合計1,036億円となり、基本金組入前当年度収支差額は33.6億円の収入超過となり、予算対比では32.4億円上回りました。

資金面ではキャッシュフローの改善により当年度末借入残高は494億円と前年度より4億円の減少となりました。

## 資金収支計算書

\*会計年度の現預金の動きとその内容を表している計算書

### 1. 収入の部

#### ◆ 学生生徒等納付金収入

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、看護専門学校の授業料、入学金、教育充実費等の金額で62.1億円となりました。

#### ◆ 寄付金収入

企業等、篤志家からの教育研究および施設設備にかかる寄付金で、合計6.8億円となりました。

#### ◆ 補助金収入

法人全体で101億円となり、予算対比57億円増加となりました。これは、新型コロナウイルス対応にかかる補助金等の増加によるものです。

#### ◆ 付属事業収入

主に日本獣医生命科学大学の動物医療センターの収入で、付属牧場とワクチン研究施設の収入を合わせて6.9億円となりました。

#### ◆ 受託事業収入

受託研究5.8億円、治験4億円で他に受託検査・受託指導・受託事業等の収入を合わせて16.2億円となりました。

#### ◆ 医療収入

4病院、クリニック、健診医療センターを合わせ前年度実績とほぼ同額の848.3億円となり予算に対しては37億円の未達でしたが、医療を取り巻く環境を考慮すれば十分健闘したものと評価できます。

#### ◆ 雑収入

施設設備利用料収入、私学退職金財団交付金収入、過年度修正額を含んでおり、23億円の計上となりました。

### 2. 支出の部

#### ◆ 施設関係支出

当年度の主な案件は、新国際交流会館の土地・建物の購入、医学部駐輪場の土地の購入とアクションプラン21第3期工事、新武蔵小杉病院建設にかかる建設仮勘定の計上で70.3億円となりました。

#### ◆ 設備関係支出

主に教育研究用機器備品（医療機器含む）の購入等で44.7億円となり、当年度は多摩永山病院の電子カルテシステム、また、新型コロナウイルス感染症対応のドクターカー（車両）や医療機器等の購入がありました。

## 資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日  
(単位: 百万円)

収入の部			
科目	予算①	実績②	対予算①-②
学生生徒等納付金収入	6,329	6,210	119
手数料収入	368	291	76
寄付金収入	652	677	△ 25
補助金収入	4,572	10,109	△ 5,537
資産売却収入	-	93	△ 93
補助活動収入	65	59	6
付属事業収入	808	694	114
受託事業収入	1,773	1,618	155
医療収入	88,546	84,832	3,715
受取利息・配当金収入	3	3	0
雑収入	1,844	2,283	△ 439
借入金等収入	15,000	14,600	400
その他の収入	34,061	31,375	2,686
資金収入調整勘定	△ 17,127	△ 18,067	940
前年度繰越支払資金	8,400	8,400	-
収入の部合計	145,293	143,176	2,117

支出の部			
科目	予算①	実績②	対予算①-②
人件費支出	43,245	44,177	△ 932
教育研究経費支出	14,499	13,122	1,377
医療経費支出	32,263	32,122	140
管理経費支出	5,644	5,008	636
借入金等利息支出	488	497	△ 9
借入金等返済支出	12,086	15,016	△ 2,930
施設関係支出	6,309	7,032	△ 723
設備関係支出	6,800	4,467	2,333
その他支出	29,327	28,546	781
[予備費支出]	-	-	-
資金支出調整勘定	△ 12,976	△ 15,545	2,569
翌年度繰越支払資金	7,608	8,734	△ 1,126
支出の部合計	145,293	143,176	2,117

\*科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。

## 事業活動収支計算書

\* 会計年度の実質的に損益となる収入・支出の内容を3区分して経営状況を表す計算書

### 1. 教育活動収支

(収入の部)

- ◆ 学生生徒等納付金、医療収入、受託事業収入などは資金収支科目とほぼ同じ意味になり、寄付金と補助金は、施設設備にかかるものを除きます。教育活動収入の合計は1,066億円で予算比20億円の増加となりました。

(支出の部)

- ◆ 人件費  
445億円となり、前年度より14億円増加、予算を8億円上回りましたが、新型コロナウイルス感染症対応の特別手当の計上が主な要因です。
- ◆ 教育研究経費（医療経費を除く）  
187.4億円となり、ほぼ前年度並みになりました。減価償却額は56.4億円となります。
- ◆ 医療経費  
医療経費は医療収入に対しての経費で予算とほぼ同額の322.5億円となり、医療経費率は38.0%と前年比0.6%の増加となりました。
- ◆ 管理経費  
50.1億円で予算比10億円の節減になりました。減価償却額は1.7億円となります。
- ◆ 徴収不能引当金組入額等を含めた教育活動支出の合計は1,006億円となります。

### 2. 教育活動外収支

- ◆ 収入は受取利息で支出は借入金等利息の5億円です。

### 3. 特別収支

(収入の部)

- ◆ 資産売却差額は、国際交流会館別館の土地売却差額0.4億円で、施設設備にかかる補助金、寄付金と現物寄付を合わせて特別収入合計は3億円の計上になります。

(支出の部)

- ◆ 資産処分差額は、付属病院旧棟の建物除却、図書の除却等で22億円の計上となりました。過年度の修正額と合わせて特別支出合計は25億円となりました。
- ◆ 特別収支差額は、マイナス22億円となりました。

## 事業活動収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位: 百万円)

### 【教育活動収支】

科目	予算①	実績②	対予算①-②
学生生徒等納付金	6,329	6,210	119
手数料	368	291	76
寄付金	570	643	△73
経常費等補助金	4,334	10,005	△5,671
補助活動収入	65	59	6
付属事業収入	808	694	114
受託事業収入	1,773	1,618	155
医療収入	88,546	84,832	3,715
雑収入	1,844	2,289	△445
教育活動収入計	104,636	106,641	△2,005
人件費	43,698	44,506	△809
教育研究経費	20,322	18,746	1,576
(減価償却額)	(5,823)	(5,640)	(183)
医療経費	32,262	32,251	10
管理経費	6,037	5,013	1,024
(減価償却額)	(393)	(170)	(223)
徴収不能引当金組入額等	13	76	△62
教育活動支出計	102,332	100,592	1,739
教育活動収支差額	2,305	6,049	△3,745

### 【教育活動外収支】

受取利息・配当金	3	3	0
教育活動外収入計	3	3	0
借入金等利息	488	497	△9
教育活動外支出計	488	497	△9
教育活動外収支差額	△485	△494	9
経常収支差額	1,819	5,555	△3,735

### 【特別収支】

科目	予算①	実績②	対予算①-②
資産売却差額	—	36	△36
その他の特別収入	353	266	87
施設設備寄付金	82	34	48
施設設備補助金	238	104	134
現物寄付	33	125	△92
過年度修正額	—	3	△3
特別収入計	353	302	51
資産処分差額	2,052	2,221	△169
その他の特別支出	—	272	△272
過年度修正額	—	272	△272
開発に伴う土地寄贈	—	—	—
特別支出計	2,052	2,493	△441
特別収支差額	△1,699	△2,191	492
〔予備費〕	—	—	—
基本金組入前当年度収支差額	120	3,364	△3,244
基本金組入額合計	△3,226	△7,185	3,959
当年度収支差額	△3,106	△3,821	716
前年度繰越収支差額	△151,661	△151,661	0
基本金取崩額	0	2,314	△2,314
翌年度繰越収支差額	△154,766	△153,168	△1,598

(参考)

事業活動収入計	104,992	106,946	△1,954
事業活動支出計	104,871	103,582	1,289

\* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。

## 貸借対照表

\*資産の部、負債の部、純資産の部に区分され会計年度末の財政状況を表す計算書

### 1. 資産の部

- ◆ 固定資産は、建物は付属病院の旧棟の除却、図書は館内改修に伴う保管スペース確保のために除却して減少しましたが、土地は新国際交流会館、医学部駐輪場および千駄木2号館の案件により増加しました。
- ◆ 流動資産の当年度末現金預金残高は87.3億円となり、当年度末の資産の部合計は1,345億円となりました。

### 2. 負債の部

- ◆ 当年度末借入金残高は494億円で前年度より4億円の減少となり、当年度末の負債合計は896億円となりました。

### 3. 純資産の部

- ◆ 学校法人会計特有の基本金が記載されています。基本金は、学校の教育活動を安定・継続的に保持していくために必要な資産の金額を観念的にとらえて、事業活動収入から留保したものとされ、第1号から第4号まで目的に応じて定められています。本学の当年度の基本金残高は、1,981億円となりました。

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在  
(単位：百万円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末①	前年度末②	対前年①-②	科目	本年度末①	前年度末②	対前年①-②
固定資産	107,251	103,729	3,521	固定負債	56,084	55,609	474
有形固定資産	105,873	102,365	3,508	長期借入金	35,246	35,508	△ 262
土地	22,395	21,715	680	その他	20,838	20,101	736
建物	58,404	62,319	△ 3,915	流動負債	33,487	32,003	1,483
構築物	1,300	1,444	△ 144	短期借入金	14,182	14,336	△ 154
教育研究用機器備品	13,423	12,045	1,377	短期未払金	14,773	13,491	1,282
管理用機器備品	184	168	16	前受金	3,552	3,181	370
図書	2,640	2,844	△ 204	その他	980	995	△ 15
車両	113	21	91	負債の部合計	89,570	87,613	1,958
建設仮勘定	7,414	1,808	5,606	純資産の部			
特定資産	58	58	0	基本金	198,130	193,258	4,872
第3号基本金引当特定資産	58	58	0	第1号基本金	190,796	185,924	4,872
その他の固定資産	1,321	1,307	13	第2号基本金	—	—	—
長期有価証券	316	316	0	第3号基本金	58	58	0
その他	1,004	991	13	第4号基本金	7,276	7,276	0
流動資産	27,281	25,481	1,800	繰越収支差額	△ 153,168	△ 151,661	△ 1,508
現金預金	8,734	8,400	334	翌年度繰越収支差額	△ 153,168	△ 151,661	△ 1,508
その他	18,547	17,081	1,466	純資産の部合計	44,962	41,597	3,364
資産の部合計	134,532	129,210	5,322	負債及び純資産の部合計	134,532	129,210	5,322

\* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。